

News Letter

2022年

6月

中国四国農政局
広島県拠点

『マル赤馬鈴しょ』（まるあかばれいしょ）』 収穫本格化へ



(収穫の様子)



(箱詰めされた『マル赤馬鈴しょ』)

東広島市安芸津町は、広島県の中央南部に位置し、1年を通し平均気温が16度前後と温暖で、降水量も少なくじゃがいも作りに最適な地域です。

特に赤崎地区は、瀬戸内海に面し海風や太陽を浴びる傾斜地で、その土壌はレンガ色の粘土質にもかかわらず水はけが良く、ミネラル分が豊富な赤土であることから、『マル赤馬鈴しょ』という名称の由来となっています。

『マル赤馬鈴しょ』は、表皮がピンク色できめ細かく凹凸の少ない美しい形状をしていることから「日本一美しい」との評判もあり、食味も良好で、そのホクホクとしっとりをおわせ持つ食感を、肉じゃが・ポテトサラダ・じゃがバターなどの料理で楽しむことができます。

収穫は、5月下旬から始まり、6月に入り本格的な時期を迎えようとしています。

関係団体の声

芸南農業協同組合 業務部経済課
野菜担当 久保さん

『マル赤馬鈴しょ』の他に、安芸津町は全国でも珍しい「種子用馬鈴しょ」の産地でもあります。

植物防疫所の検査を受け、厳重な管理の下、生産・出荷を行っています。

常に良質な種子を供給することにより『マル赤馬鈴しょ』の品質を側面から支えています。



マル赤馬鈴しょ出荷組合
組合長 国重さん

労力の省力化、生産量と所得の安定化のため、JA施設の利用・ドローンによる防除・早期栽培と普通栽培の併用・出荷終了時期の早期化に取り組んでいます。

現状、半数程度の組合員は、昔ながらの仕事ぶりですので、今年の総会時に、これまでの取組を再周知しました。



(画像提供：国重氏)

令和4年度農薬危害防止運動

農薬は
周りに配慮し
正しく使用

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省、都道府県等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

以下について、注意しましょう!!

- (1) 農薬ラベルによる使用基準の確認と使用履歴の記帳の徹底
- (2) 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理の徹底
- (3) 住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮及び飛散防止対策の徹底
- (4) 誤飲を防ぐため、施錠された場所に保管するなど、保管管理の徹底

令和4年度のポスター



★詳しくはこちらから↓



<農林水産省ホームページ> <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/220502.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306) FAX(082)228-5817 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>